

## 「気配り」のその先に

教頭 門 眞 義 弘

9月5日6日に帯広聾学校において聾学校体育大会が開催されました。聾学校体育大会は全道の聾学校(釧路鶴野支援学校を含む)の小学部5年生から中学部3年生までの児童生徒が様々な競技を通して競い合ったり交流したりする年に1度の意義深い大会です。昨年度の室蘭大会が北海道胆振東部地震の影響で中止になったことから、今年は天候にも恵まれ、無事に実施できたことが本当によかったと思います。また、今回から、陸上競技だけではなく、フロアカーリングやボッチャなどの競技も行われ、様々な実態のお子さんも参加しやすくなりました。来年開催のパラリンピックを意識し、競技に触れ、参加できたことは子ども達にとって貴重な体験になったことと思います。

さて、話は変わりますが、先日私は思いがけなく小学部重複障がい学級の校外学習に同行することになりました。学級担任の先生が体調を崩したためのピンチヒッターです。公共の交通機関を利用した円山動物園見学だったのですが、その行き帰りのバスや地下鉄の中で、自然に席をゆずってくれる方や何気なく歩きやすいように距離を保ってくれる方、スキンシップなどで積極的にコミュニケーションを取ってくれる方などに会い、とてもありがたかったです。その様子を見ながらふと、「気配り」について考えました。

何となくですが「相手の身になって考えること。」かなと思いました。人間関係を円滑にし、関係性の基礎を築いていく上でも、それは当然のことと考えられがちですが、相手の立場で考えることを日常生活で実践することは、意外に難しいことだと思います。どうしても自分中心に考えがちになるもので

す。だからこそ、相手の身になって考えることができれば、一人一人が、もう少し明るい気持ちになれるのではないかと思います。気配りや気遣いは、ルールとして決まっているものではありませんが、少しでもまわりに気遣うことができれば、みんなが過ごしやすくなる場合があります。

平成28年4月から、障害者差別解消法が施行され、学校や職場等において、障がいのある人に対する合理的配慮の提供が実施されるようになりました。障がいのある人が、それぞれのもっている可能性を最大限に発揮し、周囲の人と一緒に社会生活を送っていくためには、本人の申し出等に応じて、合意形成を図り、合理的配慮を行うことが求められます。この合理的配慮は、もしかしたら、私たちが日ごろから社会生活の中で触れている「気配り」が元になっているのかもしれないと思いました。つまり、相手の身になって考えることが、気配りを支え、合理的配慮の元になるのではないかと考えたのです。一方で、障がいのある人が自分でやろうという気持ちをもっているとすれば、それを尊重する必要があります。「気配り」を元にして考えると、合意形成もしやすくなり、合理的配慮を考えやすくなるのではないかと、社会全体としても共生社会が進むのではないかと…と思いました。

これから本校では、10月26日(土)に学習発表会、その一週間後の11月1日には、創立70周年の記念式典を予定しています。皆様が御参集する機会が増えるこの時期に、身近なことから大きなことを考えてみました。

## 10月予定表

- |                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1日(火) 個別懇談週間(～8日)、太鼓(舎)            | 15日(火) 朝会・認証式(中)、月曜日課、二計測(幼)、友和会(舎) |
| 4日(金) 英検(中)                        | 17日(木) 耳鼻科相談日(13:30～)、太鼓(舎)         |
| 5日(土) 参観日、給食試食会、バトミントン新人戦(～6日)     | 18日(金) 漢検                           |
| 7日(月) 振替休業日                        | 22日(火) 即位礼正殿の儀                      |
| 8日(火) 朝会・任命式(小)、太鼓(舎) 学習発表会特別時間割開始 | 23日(水) 小・中6校時カット(～24日)、太鼓(舎)        |
| 9日(水) 避難訓練、仲良し広場(舎)                | 24日(木) 学習発表会総練習                     |
| 10日(木) 学力テスト(中3)                   | 25日(金) 太鼓(舎)                        |
| 11日(金) 児童総会(小)                     | 26日(土) 令和元年度創立70周年学習発表会             |
| 14日(月) 体育の日                        | 28日(月) 振替休業日                        |
|                                    | 30日(水) 芸術鑑賞(小6)                     |

## 「防災の日特別給食について」

防災の日にちなみ、写真のような防災給食を実施しました。

昨年の胆振東部地震の時のように、厨房で水と電気が使えなくなったことを想定し、炊き出しのような給食で、災害時の食事を疑似体験しました。

なぜ牛乳がでないのかな？なぜ根菜汁や魚は温かくないのだろう？などいつもの給食との違いに気づき、考えながら食べていました。救給根菜汁に苦戦する子ども達もいましたが、実際に災害が起きたときには好き嫌いを言えないことが実感できました。もしもの時に備えて、災害についての学習や体験をする場面を増やしていければと考えております。学校では、水と保存食をおよそ2日分備えています。が、「まさかは必ずやってくる」という言葉を忘れずに、これからも子ども達が安全で安心して過ごせるように心がけていきます。(文責・三好)

9月2日(月)



## 「乳相 秋のピクニック」

9月6日(金)は0・1・2歳グループ合同で秋のピクニックがあり、11組の親子と一緒に円山動物園に行ってきました。新しくできたゾウ舎では、たくさんのゾウに目を輝かせたり、こども動物園では羊を触ろうと手を伸ばしたり、突然の動物の鳴き声にびっくりしたりと、学校ではなかなかできない、貴重な体験をすることができました。園内では、お友達と手をつないで歩いたり、お菓子交換をしたりもしました。楽しい思い出をまた一つ作ることができました。(文責：森戸)

## 「聾体連 帯広大会報告」

昨年度、胆振東部地震により中止になってしまった聾体連ですが、今年度は無事に行うことができました。小学部5年生以上の児童・生徒達が帯広聾学校に行き、外では100m走と砲丸投げを、中ではフロアカーリングとボッチャをして競ってきました。みんなそれぞれ目標に向かって一生懸命に取り組んでいました。

次年度は旭川大会の予定です。競技は未定となっております。(文責：樋口)

## 「幼稚部 秋の遠足」

9月10日(火)、秋の遠足で円山動物園に行ってきました。カバが餌を食べている様子や、新たにやってきたゾウを見ることができ、子どもたちは非常に楽しそうな様子でした。親子でしおりを見て、次は何を見に行くか確認したり、各学年で設定された動物の特徴等について知る活動に取り組んだりすることができました。とても暑い日でしたが、時間一杯元気に活動することができた一日でした。(文責：木村歩)

